

「がん患者さんの治療と生活をつなぐ」シリーズ

がん治療は、新薬の登場や治療の多様化、それに伴う入院日数の短縮等により、患者に求められるセルフケアが増加しています。看護師は、個々の患者に合ったケアを実施し、患者が在宅で実践できる的確な情報を提供するためにどのような知識や技術を習得しておけばよいのでしょうか。

本セミナーは、がん治療における心のケアから、治療中の生活に焦点を当てた、最新治療や薬剤の特性に起因する副作用マネジメント、日常生活のサポートまで、シリーズで実施します。

受講
対象者

現在、がん治療に携わり、抗がん剤治療に伴う副作用マネジメントやセルフケア(患者教育)について問題意識を持ち、情報やスキルをより深く学びたい看護師・医療関係者

受講料

各**3,150円(税込)**

第5回：2010年11月27日(土) 13:30~16:10 定員：100名 抗がん剤治療に伴う、皮膚障害のマネジメント

分子標的薬を始め新規抗悪性腫瘍剤の導入などに伴い、皮膚障害のマネジメントの重要性が高まっています。皮膚障害は患者のQOLを損ない、重篤な場合は治療の完遂を妨げます。皮膚障害を引き起こす主な薬剤ごとに、症状や発現状況、対処法を整理した上で、患者への情報提供、予防につながるセルフケア教育の方法についてもご参加の皆様と共有し、看護ケアの実践に役立てていただくことを目的とします。 協賛：ロート製薬株式会社

●はじめに／セッションを始めるにあたって

座長：川地香奈子
(財団法人癌研究会有明病院看護部緩和ケア病棟看護師長、がん看護専門看護師)

●講演／抗がん剤ごとの皮膚障害と対処法

一乳がん大腸がん治療薬を中心に
講師：浅子恵利(千葉県がんセンター薬剤部上席専門員、がん薬物療法認定薬剤師)

●講演／皮膚障害のアセスメントと、

患者の生活や気持ちに寄り添った看護実践
講師：市川智里(独立行政法人国立がん研究センター東病院通院治療センター副看護師長、がん看護専門看護師)

●最寄り駅よりの略図●



東京都港区海岸1丁目2番20号汐留ビルディング 20階
TEL03-6832-6010

会場：ロート製薬株式会社東京支社会議室
JR山手線浜松町駅、都営浅草線大門駅 徒歩3分

第4回 がん化学療法と口腔ケア 定員：100名 ～入院・外来治療から在宅まで～ 残席わずか！

がん化学療法は、入院のみならず、外来通院で行われる時代です。適切な口腔内評価とセルフケア指導・介入は看護師に必須のスキルです。がん治療方法別に、口腔ケアのケア指導、介入方法、そして実技を学びます。

協賛：サンスター株式会社

日時：2010年11月14日(日)

13:30～(開場13:00)

講師 大田洋二郎先生

静岡県立静岡がんセンター口腔外科部長 他



会場：学研ビル 3階ホール 品川区西五反田
JR山手線、都営浅草線、東急池上線 五反田駅
徒歩5分

申し込み方法

(株)学研メディカル秀潤社ホームページ<http://www.nursing-gakken.com/>または携帯サイト<http://www.nursing-gakken.com/mobile/>よりお申し込みください。

【お申し込みに関して】 株式会社学研メディカル秀潤社セミナー事務局

TEL:03-6431-1238 FAX:03-6431-1790

【セミナー内容に関して】 NPO法人キャンサーリボンズ(本チラシ制作・発送元)

TEL:03-3546-6101 FAX:03-5565-4914

お問い合わせ

第3回 口腔の解剖・生理とがん治療の口腔合併症の理解

日時：2010年7月25日(日)
13:30(開場13:00)～16:10

学生時代に詳しく学ぶ機会が少なかった口腔解剖・生理から歯科疾患の理解を確認した上で、がん治療で起こる口腔合併症のメカニズムとその対処方法・実践を学びます。

協賛：サンスター株式会社

【プログラム】

- 13:30～13:35 はじめに／セッションを始めるにあたって
座長：田中登美(大阪府立大学看護学部講師、がん看護専門看護師)
- 13:35～14:35 講演／口腔の解剖・生理の理解とがん治療の口腔合併症—
【基礎編】
講師：大田洋二郎(静岡県立静岡がんセンター口腔外科部長)
- 14:40～15:30 講演／がん治療における口腔ケアの実際
—患者の日常生活へつなげるために看護師ができること—
講師：妻木浩美(静岡県立静岡がんセンター 看護師)
- 15:40～16:10 実演／歯科衛生士によるセルフケア指導
講師：辻本好恵(静岡県立静岡がんセンター 歯科衛生士)

終了しました

第2回 女性がん患者のセルフイメージ構築へのサポート ～乳がんを事例に～

日時：2010年7月11日(日)
13:30(開場13:00)～16:30

女性がん患者の、容貌の変化による精神的ダメージは大きく、治療継続意欲やQOLに影響を及ぼします。

まず乳腺外科医から、セルフイメージとの関連も大きい乳房再建を含む治療選択への関わり方、主要な症状&副作用ケアについてお話いただきます。続いて看護の立場から、セルフイメージ再構築のための取り組み実践した事例を提示、それをもとにポイントの整理していきます。さらに医療以外の領域からは、活き活きとした引き出す美容ケアの方法を具体的に紹介します。

セミナー全体を通じ、医療チームの中で看護は何をどう担うのか、リソースをどう活用するのか等を考えます。

協賛：株式会社ジャンパール

【プログラム】

- 13:30～13:35 はじめに／セッションを始めるにあたって
座長：田中登美(大阪府立大学看護学部講師、がん看護専門看護師)
- 13:35～14:25 講演／乳がん治療の最新事情～術後ケアや副作用マネジメントを中心に～
講師：土井卓子(かまくら乳がん甲状腺センター長、乳腺外科医)
- 14:30～14:55 企業プレゼンテーション／医療の向こうにある術後の跡ケア
- 15:05～16:00 事例紹介&レビュー／セルフイメージの再構築
事例紹介：森知美(かまくら乳がん甲状腺センター 看護師)
事例をうけてのレビュー：田中登美
- 16:00～16:30 講演／がん治療中のスキンケアと悩み別メイクアップ(実技あり)
講師：山崎多賀子(美容ジャーナリスト、がん体験者)

終了しました

第1回 がん治療における心のケア ～困難事例への丸田俊彦先生によるスーパービジョンからの展開～

日時：2010年6月13日(日)
13:30(開場13:00)～16:00

がん患者の30～40%は軽症を含め“うつ”を抱えていると言われ、心のケアを看護師が担うことは多くあります。第1回は、米国メイヨ・クリニックで長年、腫瘍精神科医としても活躍し、現在は日本でがん患者へのグループカウンセリングを行なう丸田俊彦医師とともに、困難事例に対するケアを検討します。

スーパービジョン：精神医学などの分野で、熟練した指導者(スーパーバイザー)が事例の担当者(スーパーバイジー)に、示唆や助言を与えながら行なう教育のこと

協賛：アストラゼネカ株式会社

【プログラム】

- 13:30～13:35 はじめに／セッションを始めるにあたって
座長：田中登美(大阪府立大学看護学部講師、がん看護専門看護師)
- 13:35～14:50 事例検討／看護師が提示する困難事例に対するスーパービジョン
～3つの事例について、丸田医師の示唆のもと振り返り、ポイントの整理を行なっていきます。
- 15:00～16:00 講演／がん治療における心のケア～事例検討を出発点として展開～
臨床場面において看護師は患者とどう関わるのか、精神分析的視点も加えながら考えます。
講師：丸田俊彦(メイヨ・クリニック医科大学精神神経科名誉教授)

終了しました